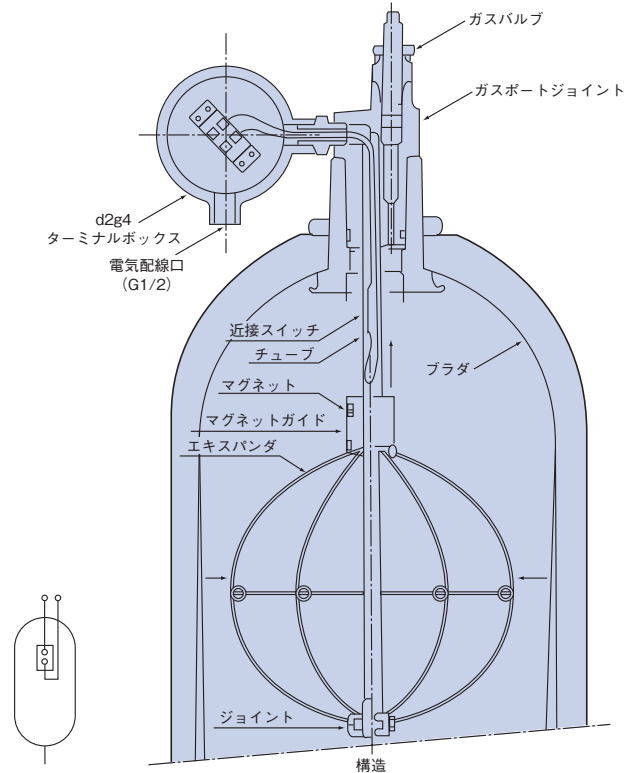




永年の経験から、機器の延命を図ることが私達の願いです。そこで開発したのが、センサー付アキュムレータ(ACCプリベンタ)です。特長、機能効果について従来の経験、勘等にたよることなく予防保全を行えるもので将来AIにつながるものと確信しております。(特許取得)

特長

- 従来の圧力計及び圧力スイッチ等ではアキュムレータが作動中にガス圧力が低下しても発見できなかったが、本製品はアキュムレータ内ブラダの体積変化の異常を電気的に検出するもので、油圧装置作動中において異常が発見できる予防保全を目的とした製品です。
- ガス圧低下に起因するブラダの損傷現象を未然に検知、防止でき、従って突発的な装置の停止が皆無になります。
- 回路誤作動、異状高圧等、システム上のアラームとしても役立ちます。
- 異状がON/OFFの電気信号で得られるため、現場や操作室でのランプ・ブザー等のアラームの他回路切換や停止等、任意の制御にも利用できます。



型式説明

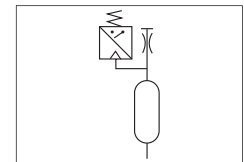
G350-50-20-PV

- 1 2 3 4 5

- 1 アキュムレータ型式
- 2 最高作動圧力
- 3 アキュムレータ呼び容積 (L)
- 4 ブラダ材質
- 5 プリベンタ

アキュムレータと組合せてご注文の際にはアキュムレータ型式表示に続けて・PVとご指示ください。

JIS油圧図記号



- ACCプリベンタ接点作動範囲
最高作動圧力の1/4~1/6まで予圧が低下した場合。
- 標準品ACC20L以上(G、Tシリーズ)に付属可能です。

ACC プリベンタの機能と効果

	プリベンタ付ACC	標準ACC
保全管理	<ol style="list-style-type: none"> 1) 定期点検から開放されます。 2) 装置稼働中にN₂圧力及びブラダの圧縮状態が判断できます。 3) 制御室に信号が送れ集中管理ができます。警報管理が簡単です。 4) プリベンタ作動によってN₂補充ができます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 定期点検1ヶ月毎に必要です。 2) 装置を停止し液圧ラインを0圧開放にしたのちにN₂圧力を測定します。 3) 1本ずつ圧力計にて点検します。 4) 点検毎にN₂補充が必要です。
予防保全	<ol style="list-style-type: none"> 1) N₂ガス圧力不足によるブラダ破損が皆無になります。 2) 予備品の手配が事前にできます。 3) ブラダ破損による突発的な装置停止が皆無になります。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) ブラダ破損の原因の90%以上は、N₂ガス圧力の不足によります。N₂ガス圧力が低下した場合、油圧は一定のため1/4以上の圧縮比となり、ブラダの一部分に急激な折れ曲がりが生じ、最終的にはブラダの上部が給気孔に押付けられてパンチング(穿孔)損傷する原因となります。 2) ブラダ破損確認後の手配となります。 3) 突発的に装置停止が発生します。